

オートドレン	形式 E1500B (D)	【保証について】 1.保証期間 使用後12ヶ月、ただし納入後18ヶ月を超えない期間とします。 2.保証内容 製品または、製品の故障部分を無償で取替え修理します。 3.保証免責事項 ● 使用方法・取扱方法及び仕様条件が当該製品仕様を外れて使用することにより生じた損害。 ● 天災地変など当社の責に起因しない災害により生じた損害。 ● その他製造者の責任とみなされないことに起因する故障及び損傷。 ● 納入製品の故障・不具合により誘発された損害。
このたびは、KONAN製品をご採用いただきありがとうございました。 機器の設置および、ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。		

1.概要

- 本品は、フロートタイプのオートドレンです。
パイロット部はメタルシート方式を採用しており、本品は開弁速度が早いブリードタイプとなっております。
(弁部漏れ許容量：1000cm² / mm以下)

2.作動原理

- 上部の入口よりエアと共に流入したドレンはフィルタエレメントでゴミを取り除かれた後、ボウルに溜められます。ボウル内に溜まったドレンは一定量になると、フロートが浮き上がり排出されます。
また、手動排出ボタンを押すと、いつでも、ボウル内のドレンを排出する事が出来ます。

3.注意事項

3-1 取付時の注意事項（裏面の図1参照）

- ドレンの最も溜まりやすいところに設置してください。
- 垂直に取付けてください。
ブラケットをご使用の場合はブラケットを本体にはめ込み、セットボルトを締め込み固定してください。
- 本体にはプレフィルタを設けていますが、ゴミやスケールが多い場所では、本品の直前にストレーナの併用を推奨します。

3-2 使用上の注意事項

- エア以外のご使用は避けてください。
- 使用圧力は0.25～1.0MPaでご使用ください。
- 供給圧力が0.25～1.0MPaに上昇するまでは、ドレン排出口よりエアが排出されますが故障ではありません。
コンプレッサー容量が小さい場合、圧力が上昇しないことがあります。
このときは、排出口のチューブを折る等してエア排出を一時的に止めてください。（裏面の図1参照）
- エア中ではドレンの落下速度は非常に遅くなります。そのため本品はドレンの落下速度をより早くする為、パイロット部より極少量のエアを漏らしていますが、これは故障ではありません。また、この機構はドレンの排出速度を早くします。

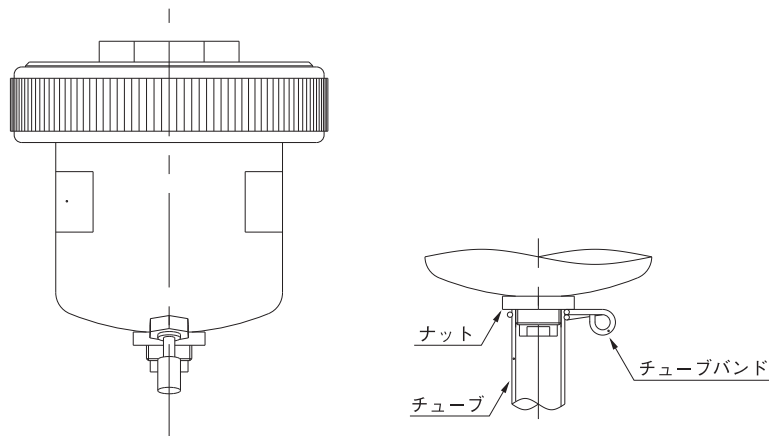
- 分解、組立要領は、裏面をご覧ください。
- お問い合わせ、ご不明点に関しては、最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

甲南電機株式会社

 URL=<https://www.konan-em.com/>

東京支店	〒108-0014	☎ 03-3454-1711	東北営業所	☎ 022-215-1195
	東京都港区芝4-7-8	芝サンエスワカマツビル	千葉営業所	☎ 043-305-1401
大阪支店	〒530-0012	☎ 06-6373-6701	北海道出張所	☎ 011-792-7451
	大阪市北区芝田1-1-4	阪急ターミナルビル	名古屋営業所	☎ 052-581-6541
西部支店	〒732-0052	☎ 082-568-0071	金沢営業所	☎ 076-233-1411
	広島市東区光町1-12-20	もみじ広島光町ビル	広島営業所	☎ 082-568-0071
国際部	〒663-8133	☎ 0798-48-5931	高松営業所	☎ 087-835-0411
	西宮市上田東町4-97		北九州営業所	☎ 093-541-0281

図1



4.保守点検要領

4-1 保守時の注意事項

- 本品は入口内部に、ゴミ取り用の150メッシュのプレフィルタを設置しています。
高粘性の油分や大きなゴミ等が詰まった場合は、適時クランプリングをゆるめ、上部フタを取り外し、プレフィルタを取り出しエアを吹き付けるか、中性洗剤で洗浄し清掃してください。
清掃の時期は、ドレン排出口からの排出する勢いが目立って低下した場合を目安としてください。
- 分解時、図1に示すナットはゆるめないでください。
ナットをゆるめることで内部のフロートの位置がずれ、ドレン排出性能に影響を及ぼすことがあります。

4-2 点検要領 (不適合が生じた場合)

症状	原因	処置
ドレン排出口から圧縮空気の放出が続く。	ボール内の圧力が0.25MPa以下に下がっている。	圧力を規定値以上に上げる。
	手動排水ボタンが入ったままになっている。	手動排水ボタンを手前に引っ張ってください。
	ノズル部にスケール等が詰まっている。	手動排水ボタンを数回押ししたり引いたりしてください。
ドレン排出口性能が低下してきた	フィルタが目詰まりしている。	ボール内の圧縮空気を完全に排出してからフタ部を取り外し、フィルタを清掃してください。
ドレン排出口よりエア、ドレンが排出しない。 又は 作動回数が少ない。	外部に設置したストレーナーが目詰まりしている。	外部のストレーナーの方が先に目詰まりして来ます。 この様な場合、先にストレーナーを清掃してください。